

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束適正化に向けて、職員の意識づけと取り組み	利用者様の尊厳を守り、一人ひとりに合ったケアを探求する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も委員会を中心に、利用者様のケア内容を具体的に検討する。また、運営推進会議で現状報告や検討を通し、身体拘束防止に努める。</li> <li>・職員は研修や教育を通して知識や理解を深め、適切な対応ができるようにする。</li> </ul>	12か月
2	12	利用者様の重度化に伴い、今後の看取り体制の整備	利用者様や家族様の意向を大事に、最期まで尊厳を保ち、生活できるように努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看取り介護に関して、ホームの方針を利用者様や家族様に理解いただいた上で、看取り介護の実践について検討する。</li> <li>・看取りに関するホームのマニュアルの明確化と職員の理解、研修、教育に努め、実践能力の強化を図る。</li> </ul>	12か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。